

第一号議案

2016年（平成28年）度事業報告書 （平成~~27~~²⁸年4月1日から平成~~28~~²⁹年3月31日まで）

特定非営利活動法人ほしはら山のがっこう

1 事業の成果

<主催の体験事業>

前年度にひきつづき体験事業では、年間を通してふるさと自然体験塾「おいしい楽校」・「ふるさとワークショップ」「かけっこスクール」を行った。また、新規事業として、「防災子どもキャンプ（三次市青少年体験活動補助事業）」を開催した。

■おいしい楽校

「おいしい楽校」では、広島市・福山市・三次市など、主に県内の青少年や乳幼児連れの親子を対象に、食農教育・ふるさと環境教育・都市農村交流の場を提供し、述べ283名の親子が参加した。前年度参加人数の多かった「稲刈り」は雨天のため参加者が少なくなり、「そば打ち」の参加が大変多くなった。新しい親子参加者が増え、リピーターの親子がリードしてくださった。主に幼児から低学年の子連れ親子が参加した。

■ふるさとワークショップ

「ふるさとワークショップ」として、ボランティアによる古民家再生ワークショップを行った。作業では、柱のシロアリが見つかり、また全体の傾きが出てきた為、大工さんのご指導ご協力により構造補修作業を行った。安全管理面などの課題を整理した結果、2016年度で当古民家ワークショップを終了し、これまでの作業での学びを今後に生かすこととなった。

■かけっこスクール

自然を感じながら気持ちよく走れる、全身のバランスの取れた体づくりを行う「かけっこスクール」2年目をを行った。親子述べ274名（21回開催）が参加した。前年度に引き続き、他の行事に比べ三次市内の親子参加が多い。ふるさとの自然豊かな地域性を活かし、野外遊びによる体づくりを発信する事業として今後も継続していきたい。

■防災子どもキャンプ

外灯のない夜の真っ暗な環境や汲み取り式トイレ施設・避難所施設である体育館がある環境を生かし、また農村の防災力に注目し、新規事業として「防災子どもキャンプ」を9月（防災月間）と3月（3・11）に実施し、それぞれ15名の小中学生が参加した。被災時の子どもだけで判断しなければならない場合を想定して電気ガス水道のない場所での課題解決型の一泊キャンプを企画。楽しい体験を通して、いざという時の不安が少しでも取り除かれること、またキャンプの学びを生かして日常生活で「自分に出来ること」に取り組める人材育成を目標とした。参加者の子どもたちは、指導者の期待を超えた対応力やアイデアを発揮して驚かせた。また被災時の「子どもの居場所・遊び場」の必要性に気付かされた。今後も子どもたちが自ら「生きる力」を育み、いざという時に備える学びの機会として継続していきたい。

<校舎利用・体験プログラム提供>

前年度にひきつづき、体験交流宿泊施設「旧上田小学校」で、日帰り・宿泊利用受入と体験プログ

ラムの提供を行い、地域住民をはじめ各種教育団体・子育て関連団体や一般市民の交流やふるさと体験、野外活動、環境教育推進、青少年育成、スポーツ合宿への協力を行った。また上田体育館の利用受入を通し、スポーツによる健康増進やレクリエーションの場の提供を行った。特に2016年度は、出身者や川西地域住民の同窓会でのご利用が三回あり、懐かしい施設を喜んでいただけた。

旧上田小学校区の住民が年二回の校舎校庭環境整備を継続してくださっている。また地域住民が利用者に温かい声かけをしてくださり、交流がリピーターを呼んでいる。今後も地域と連携し、施設をより多くの方に利用いただけるよう活動をしていきたい。

■校舎利用

前年度（利用者数 3,225 名・宿泊利用述べ 1,173 名）に対し、2016 年度は利用者数 1801 名・宿泊利用述べ 866 名と減少した。理由としては、各種団体のイベント行事開催会場としてのご利用数の減少したことで一回の利用数が少なかったことが挙げられる。利用日数は 199 日（前年度 188 日）で、年々増えている。豊かな自然と屋内体育館があることを活かしたご利用をアピールし、引き続き多くの方に活用していただけるよう活動していきたい。三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業（3 年目）のクーポンは大変喜んでいただいている。

施設整備面では、創作交流室の水道設備の手洗いシンクが、体験用として大きなサイズのものを取り換えられ、創作活動で使いやすくなった。

体育館は三次市より管理受託を行っている。年間 36 回の利用であった。より多くの方に活用いただけるよう三次市と力を合わせて活動していきたい。

■体験プログラム提供

前年度に引き続き、小学校一校の 3 泊 4 日「山・海・島体験活動」（広島県）やご利用団体に「民泊・星空観察・沢登り・ドラム缶風呂・キャンプファイヤー・絵手紙」体験を提供した。

備北観光ネットワーク協議会によりモデル企画された親子日帰りツアーでは「備北コドモフィールド」として冬のキャンプ体験を受け入れた。

■他団体との連携事業

前年度に引き続き、みよし田舎ツーリズム協議会会員として、三次市のグリーンツーリズム（特に体験教育旅行）の推進ワークショップに参加した。また、みよしふるさと自然教育研究会の会員として三次市の体験教育団体ネットワークづくりを推進した。さらに三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業に参画し、三次市での観光宿泊およびスポーツ合宿者呼び込みキャンペーンへ協力した。

指導者育成団体との連携事業として、ふるさと体験コーディネーター共育塾の宿泊研修の主な実施地となり、年間を通じた研修企画などの協力をした。これは地域のつながりや豊かな自然のある社会と子どもの教育を関連付けた指導者研修会で、地域の方々や近隣の体験指導者にご協力いただいたり、また地域行事に交流参加したりできることに魅力を感じていただいている。

共催事業としては、7 泊 8 日キャンプ（自遊人楽校主催）、みよし風土記の丘体験事業（広島県立民俗資料館主催）を実施し、各団体の事業推進に寄与することができた。

また会員団体の体験活動への協力として、自然体験活動を通して子どもの発達を支援する「こえだくらぶ」の主な活動場所となり年間を通じた活動を応援した。「広島さとやまシェアリングネイチャーの会」の事務局支援を行った。

<地域デザイン事業>

新規事業として、地域をコミュニティーデザインの視点から盛り上げる活動がスタートした。今年度は、川西地域に新たにオープンする「川西郷の駅」に向け、住民参加型で地域を盛り上げる活動として「ロゴづくりワークショップ」の委託を川西郷づくり協議会より受けて実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数 (延べ人数)	受益対象者の範囲及び人数 (延べ人数)	事業費の金額 (単位：千円)
ふるさと自然体験活動事業	主催イベント ①「ふるさと自然体験塾 おいしい楽校」…お米や 蕎麦など食と農と自然 のつながりを体験型で 学ぶ、主に親子対象の年 間行事	4/24 5/15 9/22 10/9-10 12/18 3/19-20	ほしはら 山のがっ こう及び 周辺地域 の自然・ 農地里山	72	会員及び一般 市民（主に親 子） 283	935
	主催イベント ②「かけっこスクール」 …ふるさと自然の中で 主に子どもや親子が体 づくりをする教室	第2・4土 曜日計21 回	ほしはら 山のがっ こうと周 辺自然	21	会員及び一般 市民（主に親 子） 274	
	主催イベント ③「十郎古民家ワークシ ョップ」④「竹取合戦」 …ふるさとの魅力ある 自然や文化を守り伝え る体験活動	6/26 7/9-10	十郎古民 家・竹林	22	会員及び一般 市民 36	
	主催イベント ⑤「防災子どもキャン プ」…防災の知恵やアイ デアを学び合う子ども 対象の一泊キャンプ	9/18-19 3/11-12	ほしはら 山のがっ こ・体育 館	24	会員及び一般 市民（子ども） 60	
	地域資源の維持 管理・活性化事 業	1. 校舎の利活用による ふるさと体験や自然体 験、また交流の場の提供	通年	校舎及び 校庭	220	会員及び一般 市民（内、宿泊 体験） 1801（866）
2. 体育館の利活用によ る健康づくりや福祉増 進、まちづくりの促進		通年	上田体育 館	36	会員及び一般 市民 835	60

(2) その他の事業 なし

第2号議案

様式4:その他の事業がある場合の活動計算書
特定非営利活動法人 ほしはら山のがっこう

活動計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	230,000		230,000
賛助会員受取会費	104,000		104,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金	44,500		44,500
3. 受取助成金等			
受取補助金	149,000		149,000
4. 事業収益			
体験ツーリズム事業収益	1,013,682		1,013,682
自主事業収益	834,350		834,350
5. その他収益			
受取利息	27		27
雑収入	33,500		33,500
経常収益計	2,409,059	0	2,409,059
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
雑給	927,850		927,850
人件費計	927,850	0	927,850
(2) その他経費			
業務委託費	192,400		192,400
印刷製本費	28,210		28,210
通信運搬費	38,827		38,827
消耗品費	486,589		486,589
修繕費	106,596		106,596
水道光熱費	105,741		105,741
地代家賃	9,000		9,000
賃借料	86,217		86,217
減価償却費	47,177		47,177
保険料	84,033		84,033
諸会費	5,000		5,000
研修費	6,480		6,480
支払手数料	1,296		1,296
その他経費計	1,197,566	0	1,197,566
事業費計	2,125,416	0	2,125,416
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	163,200		163,200
福利厚生費	10,000		10,000
人件費計	173,200	0	173,200
(2) その他経費			
印刷製本費	10,200		10,200
通信運搬費	119,052		119,052
消耗品費	44,439		44,439
水道光熱費	15,540		15,540
保険料	63,269		63,269
諸会費	5,000		5,000
支払手数料	92,492		92,492
雑費	31,600		31,600
その他経費計	381,592	0	381,592
管理費計	554,792	0	554,792
経常費用計	2,680,208	0	2,680,208
当期経常増減額	-271,149	0	-271,149
当期正味財産増減額	-271,149	0	-271,149
前期繰越正味財産額	2,323,798		2,323,798
次期繰越正味財産額	2,052,649	0	2,052,649

様式2:貸借対照表
 特定非営利活動法人 ほしはら山のがっこう

貸借対照表

平成 29 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,593,109		
未収金	152,000		
流動資産合計		1,745,109	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物付属設備	307,540		
有形固定資産計	307,540		
固定資産合計		307,540	
資産合計			2,052,649
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金			
退職給付引当金			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
1. 正味財産			
前期繰越正味財産			2,323,798
当期正味財産増減額			-271,149
正味財産合計			2,052,649
負債及び正味財産合計			2,052,649

様式3:財務諸表の注記

特定非営利活動法人 ほしはら山のがっこう

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は法人税法の規定に基づき建物は定額法、建物以外の有形固定資産は定率法で償却しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです

科 目	体験交流ツーリズム	主催事業	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益					
1. 受取会費			0	334,000	334,000
2. 受取寄付金			0	44,500	44,500
3. 受取助成金等	60,000	89,000	149,000		149,000
4. 事業収益	1,013,682	834,350	1,848,032		1,848,032
5. その他収益		2,000	2,000	31,527	33,527
経常収益計	1,073,682	925,350	1,999,032	410,027	2,409,059
II 経常費用					
(1) 人件費					
給料手当	443,600	484,250	927,850	163,200	1,091,050
福利厚生費		0	0	10,000	10,000
人件費計	443,600	484,250	927,850	173,200	1,101,050
(2) その他経費					
業務委託費	140,400	52,000	192,400		192,400
印刷製本費	0	28,210	28,210	10,200	38,410
通信運搬費	25,461	13,366	38,827	119,052	157,879
消耗品費	179,108	307,481	486,589	44,439	531,028
修繕費	106,596		106,596		106,596
水道光熱費	102,409	3,332	105,741	15,540	121,281
地代家賃	9,000		9,000		9,000
賃借料	86,217		86,217		86,217
減価償却費	47,177		47,177		47,177
保険料	37,087	46,946	84,033	63,269	147,302
諸会費	5,000		5,000	5,000	10,000
研修費	6,480		6,480		6,480
支払手数料	1,296		1,296	92,492	93,788
雑費			0	31,600	31,600
その他経費計	746,231	451,335	1,197,566	381,592	1,579,158
経常費用計	1,189,831	935,585	2,125,416	554,792	2,680,208
当期経常増減額	△ 116,149	△ 10,235	△ 126,384	△ 144,765	△ 271,149

様式3:財務諸表の注記

特定非営利活動法人 ほしはら山のがっこう

財務諸表の注記

3. 用途等が制約された寄付等の内訳

用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
青少年体験活動補助金 /三次市	0	89,000	89,000	0	9.3月防災キャンプ
自治活性化補助金 /三次市	0	60,000	60,000	0	水道設備修繕
合計	0	149,000	149,000	0	

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産	0					
建物附属設備	563,000	0		563,000	255,460	307,540
合計	563,000	0	0	563,000	255,460	307,540

様式5:財産目録
 特定非営利活動法人 ほしはら山のがっこう

財産目録

平成 29 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	190,552		
JA普通預金	1,327,247		
ゆうちょ銀行	75,310		
未収金			
青少年体験活動補助金/三次市	89,000		
自治活性化補助金/三次市	60,000		
三次市クーポン	3,000		
流動資産合計		1,745,109	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物付属設備(校舎の利用洗面台)	307,540		
有形固定資産計	307,540		
固定資産合計		307,540	
資産合計			2,052,649
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計			0
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産			2,052,649